



小岩ほほえみの会だより

22年11月号

第55号(11月号)

発行日22年11月4日(木)

発行元 広報部

前月10月活動

- 活動日:10月7日(木)12時~14時 ●小岩区民館
- レクリエーション:歌声喫茶”ほほえみ”♪
- 担当:植草、関口
- 後藤 文夫さん(人生大学4期卒業生 まちづくり)



メインはスパゲティナポリタン



おかわりしま～す



リード役の二人、ぴったり!



いつも会場を和らげます

当月11月活動

- 食事<さんまのかば焼き丼、けんちん汁、切干大根の含め煮、酢の物、りんご、デザート>
- レクリエーション:”日本舞踊”
- 皆川 栄子こと 藤間さかえ
- 担当:(皆川、詫間)

活動を終えて

..昔の歌声喫茶を思い出し♪...

昔よく通っていた歌声喫茶を思い出し、あのような雰囲気ではほほえみの皆様と一緒に歌えたらいいなと、



植草さんと顔を寄せ合い、歌選びから始めました。食事の後の一時間余りの短いひと時、どんな風に楽しく過ごしていたら良かったかと考えましたが、

手造りのギターの後藤さんの伴奏や、スタッフの皆さんのお力添えもあり、本当はもっといっぱい歌ってほしかったのですが、皆さんの歌声を聞き、とても楽しく終わることが出来ました。有難うございました。

(関口 節子)



ほほえみのわ

.....道.....

人にはそれぞれ歩む道、また想いもあるものです。

人気作家で直木賞等受賞した五木寛之さんの著作本、林住期(りんじゆうき)の中に、もともと古代インドでは人間の一生を四つの時期(峠)に分ける考え方があるようです。



- (1) 学生期(ガクショウキ)~学び体験を積む25歳迄。
- (2) 家住期~家庭を築く、働き盛りの25~50歳。
- (3) 林住期~人生で最も充実した時期50~75歳。
- (4) 遊住期~旅に出て、自分は何者かを見極める人生ピークの時期で、75歳から。

人生の峠をじっくり考えることを説いています。

昨今は、ネジレ国会から政治・経済の混乱、自殺者12年連続3万人を越し、高齢者の行方不明等々、さらに円高・株安からの経済の不安定等先の見えない、正に不確実の時代です。高度成長期一本やりで走ってきた時代とは違い、容易な道ではありません。

早、私は人生ピークの遊住期をまじかに迎える歳になりました。これからは老いを楽しみながら、ゆっくりと坂道を下りて行きたい。(山崎 貞)

11月誕生者 祝 おめでとうございます!

○高尾 道子 (11月23日)

●喜友名典子 (11月13日)



来月12月予定

☺お待ちしております☺

- 日時:12月2日(木)
- 受付:11:50 小岩区民館
- 会費:500円(食事代、行事保険料、趣味、活動材料費)
- お食事<鮭のちらし寿司、鰻の南蛮漬け、大学いも、すまし汁、焼きりんご>
- レクリエーション: 🎒楽しいクリスマス会🎒
- 担当:(山谷、寺木、鈴木)

ひと言

チリ鉱山事故、33名救出劇!

救出現場放映には、世界中が釘付けとなりました。奇跡的に33名全員が救出され、一人ひとりが家族を思い希望を持って耐え、それぞれが出来る役割を果たし結束し、救出されましたが、世界中に大きな感動を与えてくれたのではないのでしょうか。(編集後記)

連絡先 喜友名(TEL/FAX 03-3657-6215)